

午後7時00分 幹事が開会を宣言

討議に入る前に幹事より、ステーションの最近の動向に対し、協議会の場で再確認しておきたいこととして

「共生ステーションの利用のされかたは、すこしづつ変化しながら、うまく利用されているように思います。小学生、中学生、小さなお子様をお持ちのお母様、高齢者の人達、自治会や防災会、子供会のコミュニティ活動につながる方々にくわえ、生きがいのテーマなどにより地域のつながりが確実に深まっている感を強くします。

幹事は、市と市民でつくる幸せのものさしづくりというプロジェクトに参加していますが、しあわせな町づくりは住民同士のつながりが原動力になりそうですので、共生ステーションはその先駆けとして活動していると考えられます。協議会の活動は、ますます、地域にある課題を見つけ、あるべき姿を追求していく場になることを期待したいと思います」との発言があり一同同意した。

#### ● ステーションからの報告

(6月の入場者数2,147 (5月1,721名)

小校区 西72% 北14% 南3% 東3% 長3% 市1% その他4%

午前53% 午後42% 夜5%

年齢 大人57% 子ども21% 未就学児童 17% 中高4% 大学1%

目的別 遊び 43% 会議18% イベント18% その他

特に報告すべき傾向的变化は見受けられない事、および、問題点は特に無いとの報告あり。

実施されたプログラムに参加した人達のアンケート結果の発表があり、条件付きに開催を受諾した各プログラムが好評に推移しており、引き続き開催予定のベビーマッサージ、アロマの体験等は応募数が定員をオーバーしている状況であると報告された。

★ 回覧板の効果もあったが、イベント開催のお知らせをするには月一回の役所の配布物に合わせては間に合わない状況があるとの報告があった。直接自治会長への配付し回覧を依頼する方法も考えられる。

● 幹事からの報告として、最近の会議室の利用状況、プログラム実施の混雑状況を、提示された「会議室・カフェコーナー・ホール利用状況」を参照しながら、不用意に会議室利用者の受け入れやプログラム提案を受け入れれば、コミュニティの活動に影響があるかもしれないので、本来の目的として吉田市長が掲げている「地域のさまざまな課題に対する取り組みを行う為の拠点」を思い出し、ステーションの利用が「課題に対する取り組み」であるのかどうかの視点を維持して欲しいと述べた。また、ステーションのテーマは、合意により「こそだて」「いきがい」および「ケア」としている点を思い出してほしいと述べた。

#### ● テーマ部会の展開

★ いきがいテーマについて、まとめ役吉田初美さんから、6月21日第一回のミーティングが開催されたこと、各グループの活動内容の報告という形で終わったが、ひきつづき会合を重ねていく予定であるとの発表があった。

★ こそだてテーマ部会についてはまとめ役佐藤しのぶさんが欠席であったので報告はなかった。

★ ケアテーマのまとめ役渡辺により、ケア会議の方向について、共生ステーションのありかたがつながりを紡ぐケアの方向に向かっていること、社会福祉協議会がすすめている見守りサポーターに加え、防災会から自治連合に組長を通じてのみまもりの検討をお願いしていること、そして、それに加えて、共生ステーションとして登録団体を連絡ネットワークにした要支援者探しの、みまもりの形があるのではないかと考えている旨の発言があった。

★ テーマ部会の形で、コミュニティ会議を形成してはどうかという課題に関して、連合会の中嶋さんから、連合会としてその方向で検討が進んでいるとの報告があった。

◎ 実施されたプログラムに対する感想があれば報告して欲しいとの幹事の質問に対し、多くの来場者を集めた、ワールドカップのパブリックビューイングについて、参加した人達および子どもたちの様子から成功したイベントであるとの発言があった。

◎ 次にプログラム登録申請の審議を行った。（結論は、L許可、P保留、N拒絶）

~~~~~  
会議室利用登録申請

もりのくまさん♪（幼児とママ） L0207  
のためのわくわくプログラム

たべさっせごはんの会 L0207

伝統文化親子教室 L0207

衣食住クラブ L0207  
~~~~~

同様な趣旨のプログラムが増える中で、利用時間の調整については、事務局が主体的におこなうことで許可することとした。

◎ 会議冒頭に横田氏から討議提案された、会議室予約の優先順位について事例の説明があり3ヶ月前に申し込みを行おうとしたら役所からの電話予約が事前に入っていたという事例について討議を行った。討議の結果としては、共生ステーションのプログラムとして事前に認定されているものを除き、会議室の予約はすべて3ヶ月前から予約の登録完了順をもって優先とすることを確認した。市役所が会議室を利用する場合も同様の取り扱いとする。防災によりステーションを閉鎖したり、災害発生時にはコミュニティの活動が優先となることは当然のこととした。（★02.07）

◎ 共生ステーションからのお知らせの配付方法、告知方法について議論を行ったが自治会の他シニアクラブ、子供会さらに集会所や公園にある掲示板の利用などが考えられるが、コミュニティの部会が成立した時にテーマの一つとして取り上げてもらい検討してもらうこととした。

全てのテーマの話し合いの結論を共有したので本日の目的を終えた。

8時50分幹事は閉会を宣言した。